

準備について

大まかな文化祭準備の過程を紹介します！

大まかな時期	準備内容
10月下旬	生徒会執行部内で担当決め
11月	<u>テーマ・ロゴデザイン決定・各役職募集</u> 年によって異なりますが、第75回ではテーマは生徒会執行部から、ロゴデザインは新3年生（75回生）から募集しました。早い時期ですが、この時期には文化祭の準備がすでに始まっています。
12月中旬	<u>応募締め切り・役職ごとのオーディション</u> 応募を締め切ったら、ミニフェスティバル・ミニフェスティバル司会は12月中旬にオーディションを行います。
1月中旬	<u>階段アート（新企画）デザイン案募集（全校生徒対象）</u> 文化祭では、年によって異なりますが、全校生徒で制作できるものを作る「新企画」を行います。第75回では、階段アートを制作しました。デザイン画は76回生の樋口直太櫓さんの作品です。
1月下旬	<u>役職ごとのオーディション</u> 学年劇のキャスト・総合司会・幕間仕事人のオーディションを行います。審査基準に達する応募者がいなかった場合は二次募集を行うなど、妥協することなく選考します。
2月上旬	<u>Tシャツのデザイン決定</u> デザイン考案者と生徒会執行部が話し合いながら配色やバランスを決定します。 <u>スピーチコンテスト二次予選</u> 先生方と生徒会執行部の担当者の審査によって本選出場者を決定します。参加する弁士は巧みな語り口で聴衆を引き込みます。
2月中旬	<u>学年展示大枠決定</u> 新2年生（76回生）がクラスごとに行う学年展示では、各クラスの個性が光った作品が毎年披露されます。ここで展示のコンセプトや大枠を決定します。第75回はコロナ禍の影響で動画作品のみでしたが、動画を放映するだけではなく教室のレイアウトや装飾を工夫することで普段の教室とは一

	風変わった雰囲気になります。
2月下旬	<p><u>Qシート提出</u></p> <p>2日目のステージに出演する団体は、Qシートという照明や音響のタイミングが書かれている書類を作成する必要があります。アクリエひめじの舞台スタッフの方に各団体の演出案をここで一度提出します。打ち合わせ(下記)の資料づくりのようなものです。</p> <p><u>Tシャツ申込開始</u></p> <p>生徒会執行部から申込用紙を配布し、購入希望者を募ります。</p>
3月中旬	エンディングに使用するクラス写真を撮影
3月下旬	<p><u>要項・プログラム作成</u></p> <p>要項自体は12月あたりから作っていますが、完成するのはこれくらいの時期です。文化祭は要項をもとに動くので、とても大事な要素となっています。プログラムは、全校生徒や保護者に配布する各団体の紹介文も入ったものです。業者の方と打ち合わせを何度も重ねながら制作していきます。要項・プログラムの作成担当は生徒会執行部です。</p> <p><u>各役職制作・練習開始</u></p> <p>学年末考査が終わり春休みに入ったら、本格的な準備がスタートします。学年劇ではキャストの練習(数回の専門先生の指導含む)や大道具・小道具・衣装の制作を、オープニングプロジェクト(2日目のオープニング制作チーム)は映像やモニュメントの制作を、展示を行う団体は展示物の制作など、それぞれの担当する場所の準備を行います。</p> <p><u>学年展示準備開始</u></p> <p>撮影などの準備ができるのは春休みに入ってからです。1年前、入学したての頃に見た学年展示のクオリティに憧れて制作に力を入れる生徒も多いです。</p> <p><u>アクリエひめじスタッフとの打ち合わせ(1回目)</u></p> <p>文化祭2日目のステージであるアクリエひめじで、スタッフの方々と各団体の担当者が、事前に作成していたQシートをもとに打ち合わせをします。スタッフの方々がアドバイスをくださったり私たちのイメージを口でお伝えしたりできるいい機会になっています。</p>
4月上旬	<p><u>体育館で2日目プログラムのリハーサル</u></p> <p>文化祭2日目のプログラムを通します。実際に舞台の配置やこの時に生徒会執行部が時間内に収められているか、Qシートの内容に無理がないか</p>

	など細かいところの確認をしたり、総合司会が紹介文を考えたりします。 アクリエひめじスタッフとの打ち合わせ（2回目）
4月13日（前日）	主に1日目の準備をします。文化部展示・学年展示の準備（会場設営や映像確認など）、ミニフェスティバルの準備、オープニングの流れ確認、体育館設営（オープニングとスピーチコンテストの会場）などを行います。オープニングの準備は主に生徒会執行部が行いますが、21時頃まで生徒会や学年の先生方に付き合ってください念入りに準備をしました。
4月14日 （文化祭1日目）	1日目は校内で開催されますが、2日目の仕込みを行うため、2日目出演者は該当時間になったらアクリエひめじに行きます。仕込みの内容は、実際に演技をしたり、照明や音響の確認をしたり立ち位置にバミリをするなどです。仕込みが時間通り円滑に行われるようにアクリエひめじのスタッフの方々や生徒会執行部の担当者がサポートをします。